

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

# いずみ

No. 150

2008年9月

\*社会福祉法人 泉会\*

法人本部  
泉の家

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号  
☎03(3417)3451(代) ☎03(5494)7533  
izumi@izumikai.jp  
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番  
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205  
info@hinodesha.org  
http://hinodesha.org/

岡本福祉  
作業ホーム

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号  
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976  
okamoto@izumikai.jp  
http://izumikai.jp/okamoto/

岡本ホーム  
玉堤分場

〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号  
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433  
tamatumi@izumikai.jp  
http://izumikai.jp/tamatumi/

一九七七年十二月三日第二種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇〇八年八月二十二日発行(SSKP通巻三四〇九号)



1966年、5階建てになった頃の「泉の家」

本年の聖句  
何を飲むか、何を着るか、などといって心配するのはやめなさい。・・・あなたがたの天の父は、それがみなあなたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。  
(マタイの福音書 6章31〜33節)



理事長 橋向敏治

とつさの時に捨て身で、人を守るといふのは、至難な出来ることではない。その人が普段心掛けている生き方・意識の反映なのだろう。人に褒められよう、評価されようという、己の損得ではなく、温かい心を持つ人と思えます。現実に他人を助けるため命を落としてしまう人たちの心を生涯記憶に留めて置きたいものです。声高に自分の行動をひけらかさない、見返りを求めない、すべて普段の心の反映なのです。自分だけがよければいい、周囲に不満を抱えている人がいれば、社会の空気は変わってしまう。みんなが不安になり、閉塞感を感じる人が増え、一人だけ幸せになることは出来ないのと同じく、全員が満足というのは理想論で不可能なこと。しかし最初からそれを投げ出す風潮は、人の心を荒れさせる。日常生活の中で少しでも「みんなのために」を意識することで社会への貢献は果たせると思う。愛の輪で社会をつなぐことが求められている。この輪は、家族の輪・友人の輪・地域の輪・ボランティアの輪です。このような時代だからこそ、みんなで輪になり、お互いに手をつないで支え、励ましあって行きたいものです。泉の家の再生は、いよいよ来秋になりました。目指す心ざしを高く掲げ、額に爽やかな汗を流して、今後とも利用者・地域の方々々と歩んで行きたいと思えます。

ありがとうございました。

建替え計画を進め、今日のこの日を迎え、無事に終わることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

お忙しい中、お越しいただきました皆様、応援し、支えて下さっている全国にいる友の会の皆様ありがとうございます。また、お言葉を頂戴した岡本自治会長、世田谷区の担当課長からは、開所当初の様子や、世田谷の福祉を担って活躍されますようにとお言葉をいただきました。その他で、お言葉をいただいた方々も、当時の想いを、伝えていただきました。

ボランティアの方には、日頃の感謝の気持ちを伝え、感謝状と利用されている方々が作成した品物

を、お渡ししました。そして、泉の家で作成したDVDを鑑賞し、当時から現在までの活動などを紹介しました。式典の最後は、東京第一バプテスト教会のフラダンスです。教会でゴスペルを歌うのと同じように、フラで祈りを表現して踊ることの説明を受けました。

「老朽化した建物」今日まで障がいのある方々や、地域の方々、ボランティアなど数え切れない人達を受入れ、安心・安全に現在まで支えてくれました。良くてここまで頑張ってくれた。世田谷の岡本町にそびえ立つ建物は、360度、見渡せる場所から、何も言わずに見守っていました。44年間ありがとう、そしてお疲れ様！

この建物を設計・計画し、実現させた先達たち、キリスト教の精

神に守られ、多くの方々に支えられ、苦しい時も、その度に乗り越えてきました。7月末を持ちまして、現在の建物での活動を終了いたします。この建物と一緒に活動してきた色々なことが、走馬灯のように頭の中を巡ります。楽しいことも多くありましたが、それと同じように、辛いことも沢山ありました。

8月からは、代替地(世田谷区弦巻3305)で、建築期間中活動をいたします。一時的に引越をして、建築準備に入ります。現実には引越し、解体をするとなると、ここで終わらせて良いのか？と不安な気持ちや複雑な想いが交錯します。施設を新しく建替える責任が重く押し掛かります。多くの試練が待ち構えていることでし

よう。一人や一事業所では、できることに限りがありますが、皆様方からのご支持や支援・協力を得て、法人一体の取り組みをするこゝとで可能となり、想像もできない大きな力になります。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

「泉の家お別れ感謝のつどい」は、会場となる泉の家作業場の人数制限の問題など、思うようなお知らせや声掛けもできませんでしたが、泉の家を支えて下さった方々と共に、短い時間でしたが、共有・共感する時を持つことができました。参加された方々を始め、お手紙をいただいた方々に感謝します。また、連絡が行かずにご迷惑をお掛けした方々には、どうかこの場をお借りしお許しください。泉の家施設長 保坂 俊晴

# 泉の家お別れ感謝の集い

## オーズン サドア

### Open the Door



フラは祈りの踊りです。

#### 泉の家お別れ感謝の集い

次 第

司会 上原 絹代

- 一、前 奏 賛美歌312番 吉塚 尚朗様 鈴木 弘士
- 一、開会祈祷 いずみ友の会 会長 尾崎 風伍
- 一、主催者挨拶 社会福祉法人泉会 理事長 橋向 敏治
- 一、来賓挨拶 岡本自治会 会長 加賀見輝夫様
- 世田谷区保健福祉部障害者地域生活課 課長 金澤 弘道様
- 一、来賓紹介

- 一、感謝状贈呈 理髪ボランティア 江口 勝基様 縫製作業ボランティア 渡辺由美子様 川柳クラブ 内田 恵子様
- 一、泉の家想い出を語る アート活動 サロン楽描 齋藤 昌子様 前理事長 佐伯 邦男様 元施設長 大森 建悦様 元利用者 岡本 博様
- 一、DVDスライド上映 泉の家のあゆみ 保坂 俊晴
- 一、泉の家の新たなスタート 閉会祈祷 奥村 次雄
- 一、感謝の祈りをフラダンスで 東京第一バプテスト教会賛美フラのお母様達



お別れ感謝の集い泉の家セレモニー

## Open the Door

泉の家お別れ感謝の集いの後は、毎年恒例となった『Open the Door (施設公開)』。泉の家建替え計画により、例年の9月から、夏休み真っ只中の7月に開催。今年も、三事業所合同での開催とあって、体験コーナーに玉堤分場の押し花ハガキ・お面の絵付けが加わり、より充実した体験コーナーになりました。模擬店では、この地域の皆様へ感謝の意味を込めて、焼そばをはじめ無料で提供。泉の家建替え前、最後のイベントということで、50名を超えるボランティアの皆様にご協力いただき、大きな混乱もなく、無事に終えることができました。

岡本ホーム 日高 直哉



うまく織れるかな？

8月1日より工事完了までの期間  
「泉の家」の住所 〒154-0016 世田谷区弦巻3-30-5  
電話 03-3429-7824 FAX 03-3426-5359  
郵便物は旧住所から転送されます。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇〇八年八月二十二日発行(SKKP通巻三四〇九号)

貸借対照表(社会福祉事業会計単位)

資産の部			負債の部		
摘要科目	内訳	合計	摘要科目	内訳	合計
流動資産		208,736,825	流動負債		33,910,866
現金預金	162,821,286		未払金	17,587,996	
売掛金	705,218		預り金	82,180	
商品・製品	720,980		前受金	29,330	
原材料	179,704		仮受金	1,360	
未収金	43,397,496		賞与引当金	16,210,000	
立替金	84,750		固定負債		18,473,568
前払金	827,391		設備資金借入金	1,500,000	
			退職給与引当金	16,973,568	
			他の固定負債	0	
固定資産		486,208,862	負債の部合計		52,384,434
基本財産	145,855,401				(4,095,370減)
建物	102,906,301		純資産の部		
泉の家	12,136,099		基本金		167,037,230
日の出舎	90,770,202		国庫補助金等特別積立金		43,858,254
土地	42,949,100		その他の積立金		268,632,180
泉の家	5,050,500		移行時特別積立金	110,093,014	
日の出舎	37,898,600		授産移行時特別積立金	2,420,766	
他の固定資産	340,353,461		その他の積立金	156,118,400	
建物	29,682,030		建物整備	35,668,400	
構築物	2,219,136		施設整備	120,450,000	
機械及び装置	811,202		次期繰越活動収支差額		163,033,589
車両運搬具	9,778,715		次期繰越活動収支差額	163,033,589	
器具及び備品	9,045,310		(うち当期活動収支差額)	42,082,742	
権利	253,208		純資産の部合計		642,561,253
移行時特別積立預金	112,513,780				(40,412,850増)
その他積立預金	156,118,400		負債純資金合計		694,945,687
他の固定資産	19,931,680				(36,317,480増)
資産の部合計		694,945,687			
		(36,317,480増)			

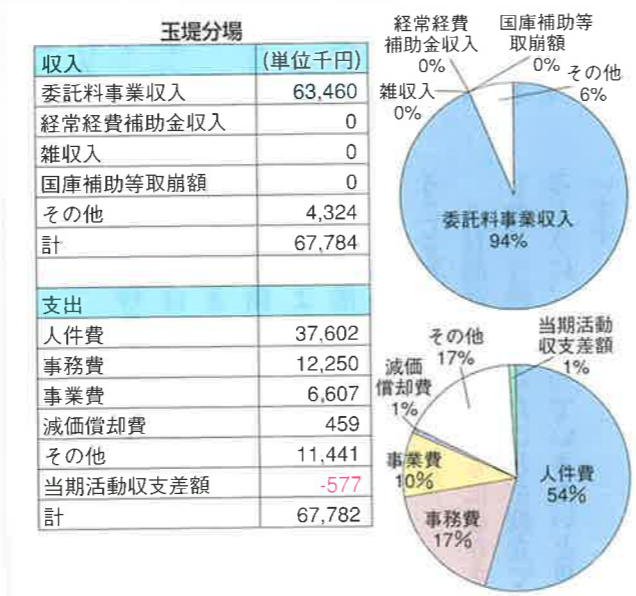
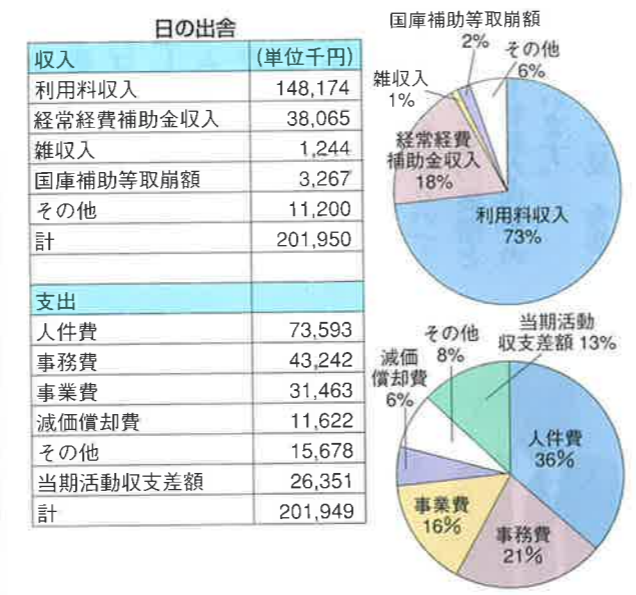
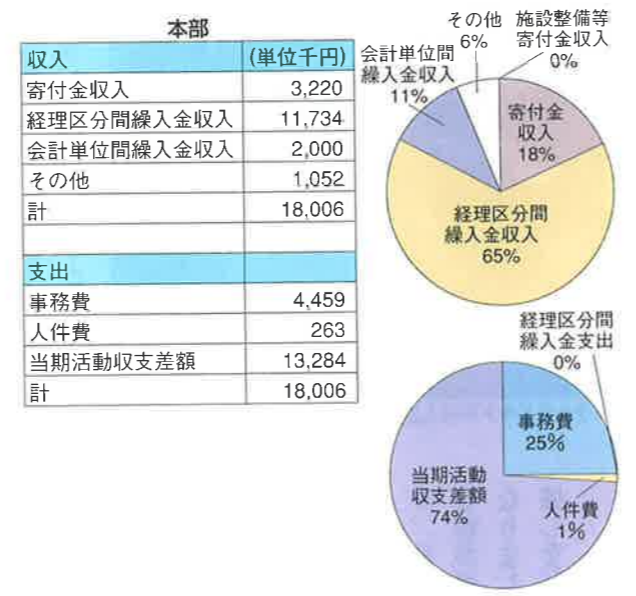
脚注 当年度末 前年度末  
減価償却費の累計額 462,847,124円 454,317,707円

法人一体経営を目指して

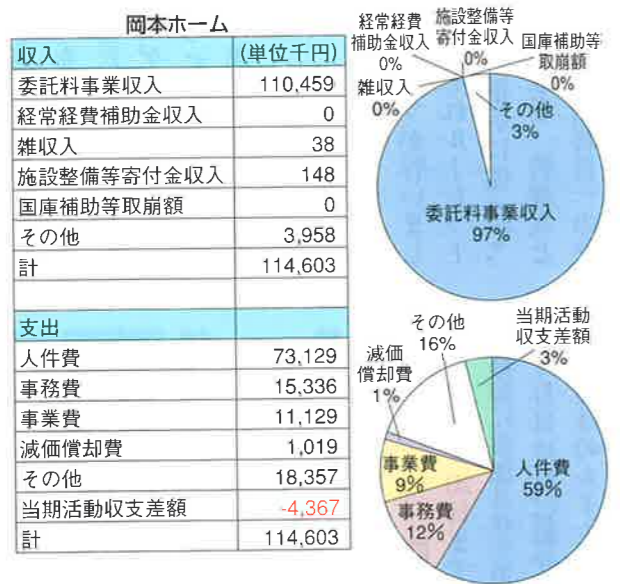
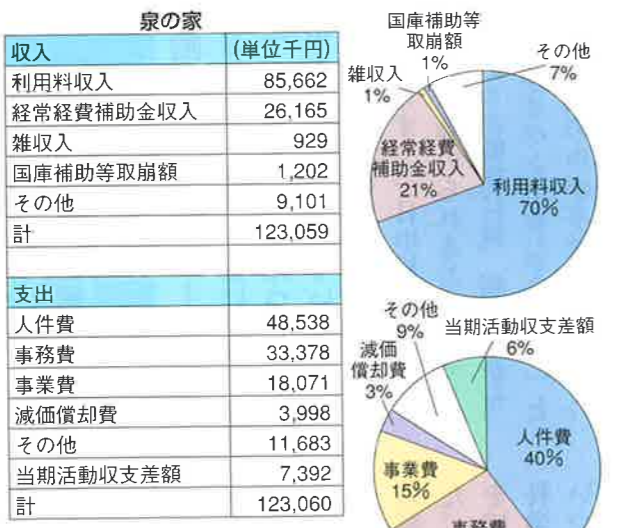
1954年に泉会が設立され53年の歳月が流れました。この間、障がい者施策も大きな転換を迎えました。この一年は、自立支援法に基づく事業展開と更なる経営改革が求められました。また、法人の社会的使命を果たすために、経営理念に基づき、三カ年計画を策定し、泉会経営ビジョンを職員全員で共有いたしました。

障害者自立支援法は、社会的に弱い立場におかれた障がい者の生活環境を厳しくし、国も激変緩和措置をとらざるを得ず、制度の根幹が揺らぎました。私達は、これまでの法人の歩みを通して障がい者の願っている福祉実現を探るべき事を再認識いたしました。

法人における優先課題としては、老朽激しい「泉の家」「日の出舎」の建て替え整備に労力を注いだ年と言えます。「泉の家」は、現在の岡本の地で通所型として事業を展開いたします。建て替へは、世田谷区と東京都との理解と協力が得られ国庫補助事業の申請を行いました。日の出舎においては、将来計画に関して検討する中、大きな課題があることが分かりました。いち早く、法人事業として本格的に行動しなければなりません。新事業として、世田谷の障がい者ニーズに応える短期入所事業と日中ショート事業を「泉の家」に開設し、世田谷三事業所の協働により取り組み、成果を上げる事ができました。遅れていた、岡本福祉作業ホーム・玉堤分場の利用者支援記録等のパソコンシステム導入も実現しました。



※各合計額は、下1桁を四捨五入しているため、必ずしも一致しません。



**授産報告**

	泉の家	日の出舎	岡本ホーム	玉堤分場
製品販売収入	1,405,205	6,063,729	2,522,771	3,660,085
受託加工収入	3,806,708	3,898,722	456,188	0
その他	0	0	0	0
授産収入合計	5,211,913	9,962,451	2,978,959	3,660,085
作業工賃	3,901,690	7,836,808	2,393,711	2,908,540
対授産収入	75%	79%	81%	%
材料費	757,580	890,732	469,733	698,745
他の支出	552,643	1,234,911	115,515	52,800
授産支出計	1,310,223	2,125,643	585,248	751,545
利用者入所	25.6名	49.2名	0名	0名
利用者通所	13.3名	21.6名	40名	14.6名
利用者計	38.9名	70.8名	40名	14.6名
平均工賃月額	9,312円	9,634円	円	17,313円
平均年齢	55.1歳	55.1歳	34.8歳	55.5歳
職員数(常勤換算)	9.9名	18.7名	15.5名	7.65名
前年度配置数	13.5名	18.3名	17名	7.6名

一九七七年十一月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇〇八年八月二十二日発行(SKKP通巻三四〇九号)

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇〇八年八月二十二日発行(SKKP通巻三四〇九号)



### 余暇の時間「人生ゲーム大会」

日の出舎では、土日は作業が休みで、その過ごし方については各利用者の自由になっています。とはいえ、梅雨の時期などは外出もままならず、一日中施設内で過ごすことを強いられることがあります。そういった時期には、利用者から「なにかイベントをしてほしい」という希望の声が多数あがります。今回は、ある雨の日曜日を利用して「人生ゲーム大会」を行いました。プレイヤーはサイコロではなく



ハラハラドキドキの人生ゲームでした

「ルーレット」を回し、お金や証券、保険のやりとりをしながら、人の一生になぞらえたイベントをこなしていきます。ゲーム序盤のルーレット目によって「人生の筋道」が決まり、その後は職業や結婚を選択しながらマス目を進んでいきます。

今回は進行役・銀行役とマス目の読みあげをスタッフが行いました。参加者はそれぞれルーレットを回し、マス目の指示に従って、科学者やアイドル歌手、料理人といった職業に就き、「給料日」のマスで給料を受け取り、「結婚する」のマスで車型のコマに配偶者の人形を立て、株や保険の配当を受け取り、それぞれゴールを目指しました。今回参加した利用者のほとんどは人生ゲームが初めてという方々でしたが、だんだんゲームが進むにしたがって、五万ドル、十萬ドルといった高額紙幣が飛び交い、「結婚する」のマスで赤面したり、独身を押し通す方などもあり、多種多様で悲喜こもごもの展開となりました。次回も斬新な内容の催しを行いたいと思います。

(二見 秀彦)



### 就労プログラムに参加して

藤島邦彦さん  
勉強になりました。特に、面接練習が難しかったです。

四ツ谷一朗さん  
6月18〜20日までの、3日間、研修会に参加させて頂きました。

1日目は自己紹介と電話の使い方、会社のルールについて学びました。自己紹介は、まず笑顔で挨拶すること。笑顔のコツは「ウイスキー」と言い、口角を上げると綺麗な笑顔が作れるそうです。実際にやってみましたが難しかったです。

スーツ姿、決まってます!!



2日目  
は、会社訪問とハローワーク見学でした。ハローワークでは、会社情報



この文章は、2人とも就労プログラムのパソコンの時間に自分で書きました。

を検索し、2〜3枚求人票をプリントして持ち帰りました。  
3日目は、面接と履歴書の書き方を学びました。面接のコツなどのお話を聞き、実際に世田谷区役所の方による面接実習を行ないました。面接では、なかなか自分の気持ちを伝えることが難しいということを痛感いたしました。  
3日間通して大変参考になりました。今後も学んだことを役立てるように、頑張っていきたいと思えます。

一九七七年十二月三日第二種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇〇八年八月二十二日発行(SSKP通巻二四〇九号)

シリーズ

# 自立

## 秋元和之さん

高次脳機能障害である秋元さんは、時間軸をもつことができません。また季節の変化を感じることも難しいようです。

今年5月より泉の家での入所生活を終え、コーポ友愛で念願の一人暮らしが始まりました。

施設での生活は、職員の声掛けとチャイムを利用していましたが、



帰りがけの買い物も楽しみの一つです。

友愛での生活では自分で時間を確認しながら過しているようです。

**Q** 秋元さんは入所時から自立に向けた生活のために訓練してきましたが、念願の一人暮らしはどうですか？

**A** 天国のように暮らしている。願いが叶いとても満足している。毎日楽しく過している。

**Q** 念願の一人暮らしを迎え現在はそのように生活していますか？

**A** 施設での生活では、3食給食を食べていたので気にする事はなかったが、一人暮らしを続けていくためには、食生活に気をつけなければいけないと思っています。だから、毎日何を食べようか考えている。健康に良いものを食べるように心がけている。そして、油っこいものを取りすぎないようにし、野菜ジュースを飲んだりもしている。今は、夕食を配食サービスで利用しているが、朝は自分で考えて買っている。料理は得意



念願の個室での生活

ているので、本当に必要な物なのかどうか考えていかなければいけないと思っています。メモを書いて、何度も考えてから買うようにしている。  
無駄遣いをなくし、将来の為に貯金していこうと思っています。

**Q** 何か困っている事はありますか？

**A** 困っている事は、特に無い。

**Q** 今後の目標は？

**A** 最終的には、一般職に付きたいと思っています。障がい者だから諦めるのではなく、厳しい中でも働けるようになりたい。

一人暮らしを始めてまだ2ヶ月ですが、多くの課題が発見されています。

ヘルパー事業所や総合福祉センター・コーポ友愛・近所の利用者・ワーカー・ご家族・医師・泉の家の職員とで秋元さんの自立生活を安定させるサポートを続けていきたいと考えています。

(本田 羽瑠香)

発行所 障害者団体定期刊行物協会 額部五十円  
東京都世田谷区砧六の二六の二  
編集人 社会福祉法人 泉会